

和地ひとみレポート No.176

新しい募集要綱で応募はあるか・・・

市が『ふれあい広場』の運営者を募集



■東大和市『ふれあい広場』とは

…玉川上水駅に市の『ふれあい広場』という空間があることをご存知でしょうか。これは昨年から東大和市が玉川上水駅前に設置された商業施設の1区画を定期建物賃貸借契約により借用して設置した場所です。この場所を設けた理由を市は「玉川上水駅前に人々が集い、にぎわいが生まれること等を期待して市の情報発信等を行う場所として、ふれあい広場を設置することとした」としています。

『ふれあい広場』



【所在地】立川市幸町六丁目 37-1

【面積】約 21.0 m² (玉川上水駅店舗内の区画の一つ)

- (1) ギャラリー兼売り場: 約 14.6 平方メートル
※ギャラリー兼売り場には行政コーナーの機能として、東大和市の情報を発信するために、パンフレットスタンドを 2 台設置。
- (2) 控え室(倉庫)面積: 約 4.4 平方メートル
- (3) 便所: 約 2.0 平方メートル
※ふれあい広場運営者が希望する場合は、市を通じて、施設の貸主との事前協議及び承認を経て、ふれあい広場前の屋外スペースを使用することも可能。

【施設設備】①電気 ②水道 ③空調機④便所⑤自動ドア
※厨房・ガス設備はなし

【施設備品】①長机: 45cm×180cm が 2 台 ②椅子: 4 脚
③展示用パネル、ホワイトボードなど ④ ピクチャーレール、フック及びワイヤーフック: 20 組

…この『ふれあい広場』設置事業に対する平成 27 年度の予算は 265 万 3000 円。月額にすると約 22 万円です。市は、この広場設置後すぐに運営管理者を右記の概要で公募しましたが、説明会に参加した者はあったものの、最終的には応募者はゼロという結果になりました。よって、平成 27 年 1 月 22 日に開業して以来、この『ふれあい広場』は市が直接管理し、様々な掲示物の展示などで使用しています。

【昨年の『ふれあい広場』運営者募集要綱の概要】

■応募資格など

1 単独応募

個人並びに法人及びその他団体が単独で応募。法人格の有無は問わない。

2 グループ応募

単独の個人及び法人等では運営が行えない場合に、適切に業務を遂行できる複数の個人及び法人等がグループを結成し応募すること。

■選考方法など

公募型提案方式により運営者の新たな事業展開を応援するとともに、市のふれあい広場の設置目的を達成しようとする内容かどうかにより選考。

⇒『ふれあい広場』の設置目的

- ①玉川上水駅前に人々が集い、にぎわいが生まれる空間となること。
- ②玉川上水駅前を訪れた人々が、ふれあう空間、交流しあう空間となること。
- ③東大和市に関連する様々な情報が発信される空間となること。
- ④東大和市の地域の活性化が図られる空間となること。

■契約期間: 平成 27 年 4 月 1 日から 1 年間
(運営準備は 3 月上旬から)

■経費負担

⇒ 市が負担する費用

ふれあい広場に係る建物使用料、光熱水費、機械整備委託料、消防設備点検費用、市が主体となって実施する各種宣伝費用

⇒ 運営者が負担する費用

前述の市が負担する費用以外に、運営者が運営を行うために必要となる経費

■市に支払う利用金額の提案

販売額等の見込みを考慮して、企画提案書において市に支払うことができる利用金額について応募者が提案。市が希望する最低利用金額は月額 3 万円。

■運営条件など

①営業日

①原則として、年中無休を希望。ただし、年末年始(12月29日から1月3日まで)、商業施設の管理上設定される休業日を除く。

②年中無休と異なる設定については、考慮する場合もあり。休業日について、企画提案書により提示可。

②運営時間

①原則として1日あたり6時間以上の営業時間(開店時間)を希望。開店時刻、閉店時刻など詳細については、企画提案書により提示可。(裏面に続く)

…今回の市の公募条件は、上記のものとは基本的には同じですが、経費負担については運営者が負担する費用に光熱水費(電気料金、水道・下水道料金)が追加されました。また、運営者が市に支払う利用額については、当初希望最低価格を月額3万円としていたところ、今回は、応募者が希望価格に関わらず提案できるようになっています。

■なぜ、応募者がいないのか

…玉川上水駅の商業施設に安価な利用料でスペースを借りられることは、一見、とてもメリットのあることのように感じられます。しかし、様々な条件を考えると、応募を考えている人、団体もなかなか手をあげられない状況ではないかと思えます。

…その要因は「契約期間が1年間」「基本、年中無休」という条件ではないかと思えます。市は想定している事業の中に「地場野菜の直売」を挙げていますが、市役所の入口で実施している(現在は市役所が耐震工事のため中央公民館に一時移転)地場野菜の直売も、野菜が採れない時期は休業しています。そうすると1年間、年中無休というのは現実的には難しいと思えます。

また NPO 法人なども、年中無休となると人の手配なども難しい部分があると思えます。

…今回の募集要項でも「市と施設の貸主との定期建物賃貸借契約期間が平成28年4月1日から平成29年3月31日の1年間なので」契約期間は1年間とされています。様々な団体、個人が、たとえば1か月、2か月限定といったように期間を決めて活用できる場にしないと、この場所の活用は少し難しいように感じます。

…年間約265万円をかけて新たに設置したこの施設は、当初の設置目的と照らし合せると、事実上、活用できていない形になっています。今回の募集では市が考えた「ふれあい広場設置の目的」を実現化してくれる団体、個人が応募しやすいように、市も柔軟な対応が必要です。前回、説明会に参加されながらも、応募しなかった方が、どうして応募を断念されたのかについても確認が必要です。何より、玉川上水駅周辺にお住いの方に愛され、また、玉川上水駅を利用される方等への有効な情報発信の場として活用されるように市は対応すべきだと思います。

■ふれあい広場運営者公募の問合せ先
企画課企画担当 042-563-2111(内線:1425)
※公募締め切りは平成27年11月9日(月曜日)

■もう、ご覧になりましたか？

「戦後70年東大和市戦争体験映像記録「沈黙の証言者～私たちのまちは戦場だった～」
ダイジェスト版がインターネットで閲覧できるように

…以前もこのレポートで取り上げましたが、東大和市は戦後70年の節目となる今年度、平和の大切さを再認識するとともに、戦争を風化させることがないように、旧日立航空機株式会社に勤務されていた方の戦争体験談、旧日立航空機株式会社変電所の歴史や現在の姿をまとめた映像記録(DVD作品)を制作しました。この映像は、平和市民の集い、郷土博物館などでも放映され、また、市役所、図書館、公民館、郷土博物館でも貸し出しを行っています。

…この作品の内容はオープニング(約6分30秒)、旧日立航空機株式会社立川工場の歴史(約12分)、忍び寄る戦火(約8分30秒)、証言者は語る(約16分)、クロージング～恒久平和を願って(約5分)の5部構成になっており、全編を通すと約50分弱。全編を通すと少々長いと思われる方もいるようですが、私は全編を通して観て、戦争当時の東大和市の様子がよくわかり、東大和市が本当に爆撃されたんだと改めて実感。今はベッドタウンとして発展している東大和市ですが、数十年前の姿は想像以上に違います。この東大和市の歴史を多くの市民の方に知ってもらいたいと思います。



…この度、この作品のダイジェスト版がインターネット(YouTube)で閲覧できるようになりました。ダイジェスト版ですので、全編で約12分の短い作品ですが、まずは、このダイジェスト版をご覧いただきたいと思います。

※映像を閲覧する場合は、市役所のHPからか、YouTubeで「東大和市公式動画チャンネル」を検索してください。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」
【プロフィール】



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／「人を活かす」経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

■連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102